

# 平成27年度第6回打合せ

日時：平成27年9月12日 PM6：30～9：15)

場所：桜が丘市民センター

出席者：別途(衛生組合作成議事録による)

## 第一部 (議事時間：PM6.30～8.30)

### 1. 序

標題について下記の通りの打合せを実施した。

### 2. 施設説明〈注：第一部において“施設”は3市共同資源物処理施設〉

#### 2.1 使用資料

- (1) 受入方式の比較表 (1/3～3/3)
- (2) 生活環境影響調査 概要版

#### 2.2 生活環境影響調査 (片山氏〈参事〉より)

##### (1) 春季分の調査結果

2.1 (2) 項の資料による (概要版で説明)

##### (2) 実施結果報告

・調査内容は同資料の“表1-1”による。(P1)

・場所は同資料“図1-1”による。(P2)

・大気質：“表2-1-1”(P3)

結果：環境基準を下回った。

・風配図：“図2-1-2”(風上が矢印)

・同上時系列：“図2-1-1”

・P5：用語説明集：1～8

##### (3) “表2-1-1”の数字の差

・一般的な変化範囲か？→その様に考える。

・これは今後3回の測定で明らかになると思う。

・自動車の影響か？

・T-VOC (その他) の主な内容 (メタン、ブタン?)

(プラ工場が出来た時に考えられるVOC) 次回原案提出 (片山氏〈参事〉)

・詳細は今判らない。今後の調査の中で明らかにしたい。

・T-VOC：環境基準値なし。

・他の地域 Data との比較が出来るのか。

・調査いたします。(片山〈参事〉)

森口氏〈専任者〉質問



・施設を作る為の基準はない。

・ 8月の夏期調査結果→10月報告予定

・ 数字の基準値の明確化→了解

(H26.9.20資料: mg/m<sup>3</sup> 表示) (今回 μg/m<sup>3</sup>)

・測定 Time Table の考え方

24Hの平均値を示している。(24H稼働している)

夏期調査報告は測定内容を判りやすく記載する。

### 2.3 施設 (2.1 (1) 項 資料による: 1/3~3/3)

(1) 施設の高さ (24mで設計)

(2) 2方式ある → ピット〈式〉 / ヤード式

(a) ピット〈式〉: クレーン使用 (貯留ピット) ← エアカーテンの使用可能

(b) ヤード〈式〉: 受入ホッパ (貯留後 → コンベアに投入)

人力 (ホイールローダーを使用)

(3) 双方の機能比較 (資料3/3による)

(4) 寸法が明確でない → 今後明らかにしていく。(片山〈参事〉)

→ 次回又は臨時会で提示

(5) 建設費 ピット〈式〉 ≫ ヤード〈式〉

(6) 基本方針

ピット式で検討を進める。(片山〈参事〉)

→ 臭気/外観から考えて

(7) 寸法が明確でないので説明だけでは理解できない。

設計の基準が変化していると思う。(坂本〈代表者〉)

(8) 建設費について充分に考えているのか? (田中〈代表者〉)

見積もりの精査をして戴きたい。

(9) 高さを低くできないか?

現状において無理です。(片山〈参事〉)

全体の地下構造は費用の面で無理。

(邑上〈会長〉)  
天井クレーンの  
設計次第と考える

→ 検討結果を示す

(10) さくら苑より高くなるのは問題か? (森口〈専任者〉)

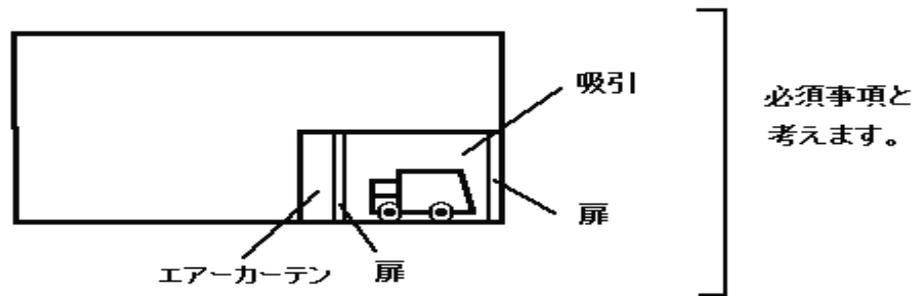
(11) 吸気対策を入れて戴きたい。(岡田〈専任者〉)

(低気圧化する)

(12) 排気対策を充分にして戴きたい。(小川〈代表者〉)

↳ 処理をして排気。

(13) 車の出入りに扉（邑上〈会長〉）



(14) 本日の討議について参加者意見

提示案の再検討をして戴きたい。

衛生組合 → 了解した。

(15) 協議会の中での反対／賛成状況（田口〈部長〉）議会発言

同上は理解／選挙結果からは賛成と理解。（市長選を意味します）

(16) 検討はピット方式で進めたい。（片山〈参事〉）

・ 今後はピット方式での議論になりますね。（光橋〈専任者〉）

・ お金の話しは設計の変化により（上昇方向）する。

（光橋〈専任者〉／片山〈参事〉）

・ 実施計画の中で建設費を算出する形となる。

確認署名； 会長：邑上良一、衛生組合：片山敬、書記：岡田正嗣

サインコピー

「以上 ホワイトボード板書より」

会長 邑上良一  
組合 片山敬  
書記：岡田正嗣

## 第二部 （議事時間：PM8.30～9.15）

### 1. 序

標題について下記の通りの打合せを実施した。

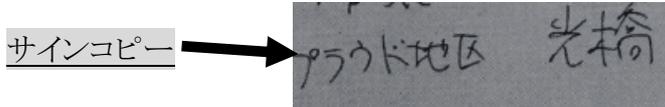
4. そもそも論討議（注；第一部から継続しますが Item 3 は欠番とし Item 4 から開始します）

#### 4.1 今後の検討方針

まずは検討項目を羅列する。(ホワイトボード及びパワーポイント資料使用)

- (0) 「ごみ焼却施設更新に際し、資源物処理施設を先行して検討する理由」への質問  
「廃プラ施設が最高の能力のときと最低の能力のときのそれぞれの焼却施設の能力と、それぞれの場合のコスト比較表」が必要。  
「廃プラ施設の最低の能力とは、「建設しないこと。」是非比較表の作成をお願いしたい。
- (1) ゴミの量そもそも増えていないのでは？
- (2) 元々の資源化処理は6品目でした。今回の2品目以外の4品目はどうされる予定なのでしょう？
- (3) 今回の焼却施設の建て替え理由が、施設の老朽化の更新だけなら、現在のものを新しくするだけとし、資源物処理も現状のまま、という案も有りですよ？
- (4) 新しい焼却施設を建設する場合、サーマルリサイクル施設にするかしないかにより、環境省(?)からの補助金の額が違うと聞いたことがあります。それは事実ですか？
- (5) 衛生組合側は、新しい焼却施設をサーマルリサイクル施設にしないのですか？
- (6) 衛生組合側は、コスト、環境影響、立地、住民感情等、何の拘束も無ければ、新しい焼却施設はどのようなものが理想なのですか？
- (7) 「再資源化処理も行政が行うべきが原則」の意味は、何が何でも絶対行政ですか？  
民営を認める例外はありませんか？
- (8) 再資源化処理も行政が行うべきと判断するにしても、現在の民営による処理とのコスト比較はすべきではありませんか？
- (9) 1年間他市の施設を見学しましたが、我々のような住宅地が隣接している施設が存在していなかったことは認めますよね？VOC 対策を万全にさせていただくとしても、他市に前例のない住宅密集地での対策になり、我々はその VOC 対策のモルモットになってしまうということは認めますよね？
- (10) VOC 対策を万全にさせていただくことを約束していただけたとしても、コストの上限は存在しますよね？

(11) 「施設の姿」をいきなり建設に素人の近隣住民に押しつけるのではなく、行政側自身が、市民のことを考えるプロとして、叩き台案をいくつか提示し、その具体的なメリット・デメリットを全て説明したうえで、近隣住民に判断を仰ぐべきではありませんか？



4.2 9月市報でのゴミに関して(町田〈専任者〉)

- ・ 重量でなく容量比を知りたい。
- ・ 3市での予測算出が出来ないか。

・ 検討します。(組合)

4.3 グランスイート玉川上水管理組合

別途資料を提出したい。→ 了解 (組合)  
(調査すること。)

本議事録は「ホワイトボード板書」を正式議事録とし、本タイプアウト版を  
副本とし、相互に疑義が生じた場合は板書版で再確認を行う。

タイプアウト；森口(協力；岡田)

以上

---

次回開催日： 10月17日(土) PM6:30~7:45 一部 そもそも論  
(議事の順序) PM7:45~9:00 二部 建設  
開催場所；桜が丘市民センター